



2025年2月21日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ピ ア ラ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 飛 鳥 貴 雄
(コード番号：7044 東証スタンダード)
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 松 田 淳
(TEL 03-6362-6831)

(訂正)「2024年12月期 通期 (連結・個別) 業績予想と実績値との 差異に関するお知らせ」の一部訂正について

当社は、2025年2月13日に公表いたしました、「2024年12月期 通期 (連結・個別) 業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」の記載に訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正の理由

2025年2月13日の適時開示後に、2024年12月期における会計監査人による会社法監査の過程において記載内容の一部に訂正すべき事項があることが判明いたしましたので、訂正を行うものであります。

主たる訂正内容としては以下となります。

- ① 関係会社株式の評価に関して、実質価額の回復可能性について検討を重ねた結果、当社の個別財務諸表に関係会社株式評価損の計上を行うものであります。
- ② 連結子会社である比智(杭州)商貿有限公司の一部売上債権について精査を行った結果、当社グループの連結財務諸表に、追加で貸倒引当金及び貸倒引当金繰入額の計上を行うものであります。

2. 訂正の内容

訂正箇所には下線を付して表示しております。

【訂正前】

3. 業績予想と実績値との差異

(1) 2024年12月期通期連結業績予想と実績値との差異 (2024年1月1日～2024年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	13,498	△185	△135	△113 ～△62	△16円42銭 ～△8円97銭
今回実績値 (B)	13,488	△146	△129	△110	△16円00銭
増減額 (B-A)	△9	39	6	2 ～△48	
増減率 (%)	△0.1	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2023年12月期通期)	9,064	△383	△423	△982	△141円95銭

【訂正後】

3. 業績予想と実績値との差異

(1) 2024年12月期通期連結業績予想と実績値との差異 (2024年1月1日～2024年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	13,498	△185	△135	△113 ～△62	△16円42銭 ～△8円97銭
今回実績値 (B)	13,488	<u>△149</u>	<u>△132</u>	<u>△114</u>	<u>△16円47銭</u>
増減額 (B - A)	△9	<u>36</u>	<u>2</u>	<u>△0</u> ～△52	
増減率 (%)	△0.1	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2023年12月期通期)	9,064	△383	△423	△982	△141円95銭

【訂正前】

3. 業績予想と実績値との差異

(2) 2024年12月期通期個別業績予想と実績値との差異 (2024年1月1日～2024年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	12,606	△1	△104 ～△90	△15円09銭 ～△13円04銭
今回実績値 (B)	12,637	37	△139	△20円17銭
増減額 (B - A)	31	38	△35 ～△49	
増減率 (%)	0.2	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2023年12月期通期)	8,759	△259	△937	△135円42銭

【訂正後】

3. 業績予想と実績値との差異

(2) 2024年12月期通期個別業績予想と実績値との差異 (2024年1月1日～2024年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	12,606	△1	△104 ～△90	△15円09銭 ～△13円04銭
今回実績値 (B)	12,637	37	<u>△210</u>	<u>△30円35銭</u>
増減額 (B - A)	31	38	<u>△105</u> ～△120	
増減率 (%)	0.2	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2023年12月期通期)	8,759	△259	△937	△135円42銭

【訂正前】

4. 差異の理由

(2) 個別業績

売上高は前回発表した計画値より若干上振れて推移しており、営業利益が黒字化したことで経常利益も赤字予想から黒字となりました。

当期純利益については、当社の保有する投資有価証券の売却が2024年内に完了しなかったこと及び、子会社への債権に対する貸倒引当金を計上したことで想定を下回りました。

【訂正後】

4. 差異の理由

(2) 個別業績

売上高は前回発表した計画値より若干上振れて推移しており、営業利益が黒字化したことで経常利益も赤字予想から黒字となりました。

当期純利益については、当社の保有する投資有価証券の売却が2024年内に完了しなかったこと、関係会社株式の評価に関して、関係会社株式評価損の計上及び、子会社への債権に対する貸倒引当金を計上したことで想定を下回りました。

以 上